

あかるいまち 21

組合員活動ニュース No.568

2011年8月2日(火)

広島中央保健生活協同組合

組織部 TEL082-532-1264

FAX082-532-1267

高齢者にやさしいまちって何だろう？(説明会に51生協155名)

6月にありました第56回通常総代会にて、保健生協の2011年度方針と第5次長期計画が採択されました。その中に「笑顔で安心して住みつづけられるまちづくり」に取り組もう。とあり、具体的な取り組みの一つとして「高齢者にやさしいまちづくり」があります。この取り組みは、WHO(世界保健機関)が提唱した「アクティブエイジング」に基づくものです。アクティブエイジングとは、高齢期をいきいきと暮らしていく、とでも訳したら良いでしょうか。高齢社会を悲観的にとらえるのではなく、人類が獲得した最大の勝利ととらえ、積極的・アクティブに年を重ねられるようなまちづくりを進めようというものです。

7/22 医療福祉生協連が主催した「高齢者にやさしいまちチェック全国一斉行動」説明会では、8分野53項目からなるチェックシートを紹介と取り組みの呼びかけがありました。2009年度には全国10生協で先行実施が行われています。説明会では医療生協かわち野の実践報告があり、結果をもとに地域の課題の洗い出しと解決策を参加者で実際に出し合いました。結果からは地域の様子、どんなことが問題になっているのかなどをイメージすることができ、「生協としてできること」「他団体と協同して解決できること」「行政に働きかけること」など様々な提案が出てきていました。

当生協でも、この取り組みをどのように進めていくのか検討していくことが大切です。

【以下、説明会の感想より】

事前に配られていたチェック表に記入して気づいたことは、自分の住んでいる地域の様子、その実態がほとんど分かっていない自分に気づかされました。「高齢者にやさしいまちづくり」とは、ただ単に高齢者だけの課題ではなく、「誰にとっても住みよい地域づくり・町づくり」なのだ学びました。できる範囲でこの運動に参加できたらいいなと思っています。

日本母親大会 in 広島(7/30-31 広島グリーンアリーナ他)



【アピール文を読み上げる参加者】

7/30-31日、「日本母親大会」が開催されました。今回で57回目を迎えた大会ですが、開催地が広島になったのは初めてのことです。全国から約8,500人の参加者が集まり、核兵器廃絶や原発依存からの脱出など、各地の様々な取り組みや訴えが交流されました。

子どもたちに明るい未来を手渡そうと、「核兵器から子どもを守ろう」という母親大会の原点を参加者全員で確かめ合われました。



広島中央保健生活協同組合